

春闘の団体交渉が始まりました



今回も引き続き有給休暇を時間単位で取れるよう要求しています。半休ほど時間を要さない子供の病院受診、授業参観、保護者会活動、役所や金融機関の用事、習い事などで利用したいと希望が出ています。



信濃町も他地区との格差を生じない形での導入を望んでいます。

『職員食堂グリーンが閉鎖、貧しい食環境』

職員食堂グリーンズカフェが閉鎖されました。これまで利用してきた職員から「代替りの業者がはいるの？どうなるの？」という質問や「温かいお昼ごはんや麺類が食べたいので職員食堂は必要」という要望がよせられていることを団体交渉で伝えました。



回答は「今のところ職員食堂をつくる予定はない」とのこと。

職員食堂がなくなったことでまた休憩室が足りなくなっていると伝えると「2号館3階の職員休憩室を30席増やし130席にする」との回答でした。

貴重な昼休みの時間を、豊かな気持ちで過ごせる食堂の再設置を要望します。



2022 春闘団交日程

5/19(木)職員問題

5/26(木)病院問題 *病院長出席

6/9(木)大学教員問題 *財政説明

6/15(水)一貫校教員問題

6/27(月)全体問題+各職種

いずれも 19:00~22:00 zoom にて

組合員は参加・傍聴可能です。

ご希望の方は、k-yostuya@keio-union.or.jp へご連絡下さい



病棟看護師大忙しです⚡

4月新人ナースが各病棟 4~6 人配属されました。先輩ナースは指導に関わっているため、日勤では看護師一人の受け持ち患者数が通常の 4~6 人から 6~9 人になることもあります。業務量が多く残業が増え、疲れ切っています。

緊急入院受け入れや HCU 一般ベッド削減による手術後すぐに戻ってくる患者さんの容態見守りに加えて、患者の高齢化も進み、一人一人に安全や理解を得るための説明に時間がかかります。



昨年度、看護師の退職数は 90 名以下に抑えるという看護部の目標を大幅に上回り 123 名でした。希望をもって入職したはずなのにどうして多くの人が辞めて行くのでしょうか。対策をたてない限り毎年毎年この繰り返しになります。

医師は働き方改革で働く環境が変わりましたが、看護師の働く環境はどうでしょう。むしろ悪くなっている様に感じます。

スタッフの誰かが倒れれば、全体のバランスが崩れてしまうようなギリギリの状態、皆が必死です。そんな中でも頑張れるのは、スタッフ間の人間関係が良いからです。これは私の病棟の宝だと思います。

最近、看護部から「勤務開始前に早く来て業務は行わないよう」通達がありました。「始業前に早く来てはいけない」というならその原因対策を考えてくれないと・・・現状の業務体系の見直しや増員をしなければ、患者の安全も守れず、自分の身体が壊れてしまいます。

26 日の団体交渉で看護師の人員、働き方を協議していきます。労働組合に入って一緒に声を出して慶應義塾と交渉しましょう。



組合加入届

※組合へは専任・非専任問わず、加入できます。組合への加入をご希望の方は、下記にご記入後、切り取り、慶應義塾労働組合四谷支部まで塾内便にてご送付ください(組合紹介パンフを希望の方は、k-yotsuya@keio-union.or.jp にご連絡ください)。

フリガナ

記入日：20 年 月 日

職員番号：

職場名：

氏名

生年月日： 年 月 日

職員・看護師 (いずれかに○を)

メールアドレス